

MMO ゲーム패드 JC-DUX60BK ドライバー設定ガイド

このドライバー設定ガイドは、“JC-DUX60BK”に付属のドライバーを使った、各ボタンや十字キー/スティックの機能割り当て、連射の設定、マクロの割り当てなどの操作について説明しています。

※ドライバーのインストール方法については、“JC-DUX60BK”に付属のユーザーズマニュアルをご覧ください。

※このドライバー設定ガイドは、Windows®10の画面で説明しています。
画面はOSによって異なりますが、操作は同じです。

ドライバーを起動する

→2 ページ

ドライバーの画面について

→4 ページ

ボタンの機能を設定する

→6 ページ

十字キー/スティックの機能を設定する

→16 ページ

各種機能設定画面を起動する

→18 ページ

マクロを設定する

→21 ページ

ドライバーを起動する

- 1 タスクトレイまたは通知領域の  アイコンを右クリックして「開く」をクリックします。



-  • Windows®10、Windows®8.1、Windows®7 で通知領域に  が表示されている場合は、 をクリックして  アイコンを右クリックし、「開く」をクリックします。

- 2 ドライバーの設定画面が表示されます。



-  ゲームパッドを接続せずにドライバーを起動すると、「ゲームパッドが接続されていません!」と表示されます。必ずゲームパッドを接続して操作してください。



-  接続したゲームパッドのファームウェアが最新でない場合、ファームウェアアップデート通知が表示されます。実行をクリックし、ファームウェアアップデートツールを起動してください。



詳細は、[👉 「ファームウェアアップデートを実行する」](#) を参照してください。

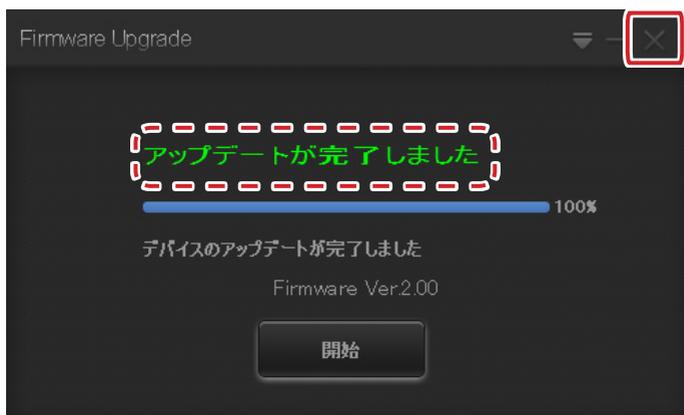
ファームウェアアップデートを実行する

- 1 ファームウェアアップデートツール起動後、**開始** をクリックするとファームウェアアップデートが開始されます。



- ⚠ アップデート中は USB ゲームパッドを取り外さないでください。エラーが発生した場合 USB ゲームパッドを接続しなおし、もう一度 **開始** をクリックしてファームウェアのアップデートを実行してください。

- 2 「アップデートが完了しました」と表示されたら、ファームウェアのアップデートは完了です。右上の **×** をクリックして、ファームウェアアップデートツールを閉じてください。



- 3 USB ゲームパッドを一度パソコンから取り外し、再度接続してください。再接続後にゲームパッドが認識され使用可能となります。

ドライバーの画面について



① プロファイル選択部

5つのプロファイルが設定できます。5つのプロファイル（プロファイル1～5）にそれぞれ異なるボタン設定、十字キー/スティック設定を登録でき、プロファイルを切り替えることで設定をまとめて切り替えることができます。

詳細は、➡「ボタンの機能を設定する」および➡「十字キー/スティックの機能を設定する」を参照してください。

② ボタン設定

各ボタンの番号と現在各ボタンに割り当てられている機能名、連射設定、連射速度が表示されます。ボタンの機能を変更するには、変更するボタンの番号、または機能名をクリックし、表示されたボタン設定画面で機能を選択します。

詳細は、➡「ボタンの機能を設定する」を参照してください。

③ 十字キー / スティック設定

十字ボタン、左右のアナログスティックの機能を設定します。十字キー / スティックの機能を変更するには、変更する十字キー / スティック名、または機能名をクリックし、表示された十字キー / スティック設定画面で機能を選択します。

詳細は、➡ [「十字キー / スティックの機能を設定する」](#) を参照してください。

④ その他設定

マクロ、本体メモリ管理を設定する画面を起動します。

詳細は、➡ [「各種機能設定画面を起動する」](#) を参照してください。

ボタンの機能を設定する

プロフィールを選択する

最初にプロフィールを選択します。ボタン設定の内容が、選択したプロフィールに登録されます。



ボタンの機能を設定する

ボタンリストには、ボタン番号と現在各ボタンに割り当てられている機能が表示されています。



ボタンの機能を変更するには、変更するボタンの番号または機能名をクリックし、表示されたボタン設定画面で機能を選択します。



リストに表示しきれなかったボタンは、スクロールさせるかスライダーをドラッグして表示させてください。

ボタンの機能を設定するには

次の手順は、「プロファイル 1」の「ボタン 24」に「音量ミュート」を割り当てる場合を例として説明します。

1 プロファイルをクリックして選択します。



2 変更するボタンの番号または機能名をクリックします。

ボタン設定画面が起動します。



- 3** ボタン設定画面の「音量」の「音量ミュート」をクリックします。
選択した機能が赤く表示されます。
設定できる機能の詳細は、➡「[ボタン設定画面](#)」を参照してください。



- 4** **OK** をクリックします。



5 これで、ボタンの機能が変更されました。



「プロファイル 1」で「ボタン 24」を押すと、「音量ミュート」が実行されます。

ボタン設定画面



マウス

左クリック	左クリックします。
右クリック	右クリックします。
ホイールクリック	ホイールをクリックします。
進むボタン	Web ブラウザの「進む」操作になります。
戻るボタン	Web ブラウザの「戻る」操作になります。

ホイール

ホイールアップ	ホイールアップの機能を割り当てます。
ホイールダウン	ホイールダウンの機能を割り当てます。
チルト左 (左スクロール)	Web ブラウザ等で左にスクロールします。
チルト右 (右スクロール)	Web ブラウザ等で右にスクロールします。

ゲームパッドボタン

1 ~ 24	ゲームパッドの 1 ~ 24 の各ボタンの動きに設定します。
--------	--------------------------------

キーボード

表示されたキーボード上で選択した任意のキーをボタンに割り当てます。



《設定方法》

- ① **登録するキー選択** をクリックします。
キーボード設定画面が表示されます。
- ② 設定したいキーをクリックします。
選択したキーには白い が付きます。
 「Ctrl」、「Shift」、「Alt」など、同時押しが可能なキーと組み合わせ設定することができます。
- ③ **OK** をクリックし、キーボード設定画面を閉じます。

音量

音量上げる	Windows® の音量設定を上げます。
音量下げる	Windows® の音量設定を下げます。
音量ミュート	Windows® の音量設定を消音にします。

音楽

再生 / 一時停止	メディアプレーヤーを再生 / 一時停止します。*
停止	メディアプレーヤーの再生を停止します。*
前のトラック	メディアプレーヤーの1つ前のトラック / チャプター / ファイルの先頭に戻ります。*
次のトラック	メディアプレーヤーの次のトラック / チャプター / ファイルの先頭に進みます。*

*使用するプレーヤーソフトによっては動作しないことがあります。

マクロ

選択したマクロをボタンに割り当てます。

マクロエディタ画面の詳細やマクロの作成方法については、🔗「マクロを設定する」を参照してください。



《設定方法》

- ① **登録するマクロ選択** をクリックします。
マクロ選択画面が表示されます。
- ② 設定したいマクロをクリックします。
- ③ **OK** をクリックし、マクロ選択画面を閉じます。

❗ マクロを設定したボタンのマクロを削除すると、ボタン設定は初期設定に戻ります。

プロファイル変更

次のプロファイルへ	プロファイルを順に切り替えます。
プロファイル 1	プロファイル 1 に切り替えます。
プロファイル 2	プロファイル 2 に切り替えます。
プロファイル 3	プロファイル 3 に切り替えます。
プロファイル 4	プロファイル 4 に切り替えます。
プロファイル 5	プロファイル 5 に切り替えます。

❗ 「次のプロファイルへ」を割り当てる場合、すべてのプロファイルで同じボタンに割り当てることを推奨します。
すべてのプロファイルに割り当てない場合、連続して押しても切り換えがループしなくなります。

無効

ボタン

クリックするとボタンの機能を無効に設定します。

初期設定に戻す

ボタン

クリックすると現在ボタンに設定されている機能を初期設定に戻します。

キャンセル

ボタン

クリックすると選択した機能を設定せずにメイン画面に戻ります。

OK

ボタン

ボタン設定画面で選択した機能をボタンに登録します。

連射を設定する

ボタンごとに連射を設定できます。

連射設定エリア



1 連射設定部

連射設定エリアで各ボタンの連射設定内容をクリックするたびに連射の設定の内容が変わります。

(初期値は連射 OFF です。)



連射 OFF	連射機能を OFF に設定します。
連射 ON	連射機能を ON に設定します。ボタンを押しているあいだ連射を続けます。
連射 AUTO	連射機能を ON に設定します。ボタンを押すと連射を実行します。もう一度押すと連射を停止します。

2 連射速度設定部

連射速度を設定します。(初期値は 10 です。)

連射 ON または連射 AUTO のときに、クリックしてキーボードから数値 1 ~ 50 を入力します。数値が大きいくほど連射速度が速くなります。

十字キー / スティックの機能を設定する

十字キー、左右のアナログスティックの機能を設定します。十字キー / スティック設定の内容が、選択したプロフィールに登録されます。



十字キー、左右アナログスティックの機能を変更するには、変更する十字キー / スティック名または機能名をクリックし、表示された十字キー / スティック設定画面で機能を選択します。

設定できる機能の詳細は、👉 [「十字キー / スティック設定画面」](#) を参照してください。

十字キー / スティック設定画面



POV/ アナログ軸

POV	POV (ハットスイッチ) に設定します。
X-Y 軸	X-Y 軸に設定します。
Z-Z 回転	Z-Z 回転に設定します。
キーボード : WASD	キーボードの WASD キーに設定します。
キーボード : 矢印キー	キーボードの矢印キーに設定します。

マウス

マウスカーソル移動	マウスの操作と同様の動きになるように設定します。 スライダーで、マウスカーソル速度を調整できます。
-----------	--

無効

ボタン

クリックすると十字キー / スティックの機能を無効に設定します。

初期設定に戻す

ボタン

クリックすると現在十字キー / スティックに設定されている機能を初期設定に戻します。

キャンセル

ボタン

クリックすると選択した機能を設定せずにメイン画面に戻ります。

OK

ボタン

ボタン設定画面で選択した機能を十字キー / スティックに登録します。

各種機能設定画面を起動する

マクロ、本体メモリ管理をする画面を起動します。

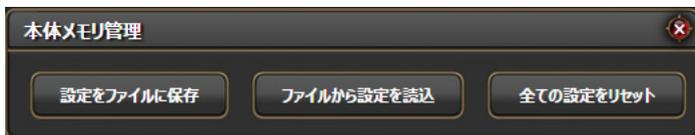


「本体メモリ管理」設定画面起動

「マクロエディタ」起動

「本体メモリ管理」設定画面起動ボタン

クリックすると「本体メモリ管理」設定画面が起動します。



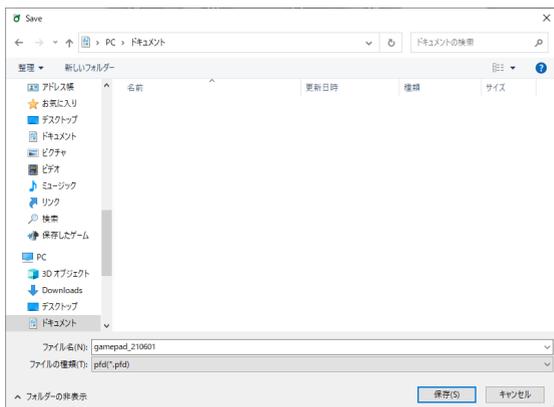
設定をファイルに保存 ボタン

設定したゲームパッドの本体メモリの内容をプロファイルごとにパソコンのデータファイルとして保存します。

保存したいプロファイルを選択します。



設定をファイルに保存 ボタンをクリックすると、[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。



ファイル名を入力し、**保存(S)**をクリックします。

同じ名前のファイルがある場合、上書きしてもよいか確認のメッセージが表示されます。



! ファイルはプロファイルごとに保存されます。すべてのプロファイルを保存するには、5つのプロファイルそれぞれ個別に保存する必要があります。

ファイルから設定を読み

ボタン

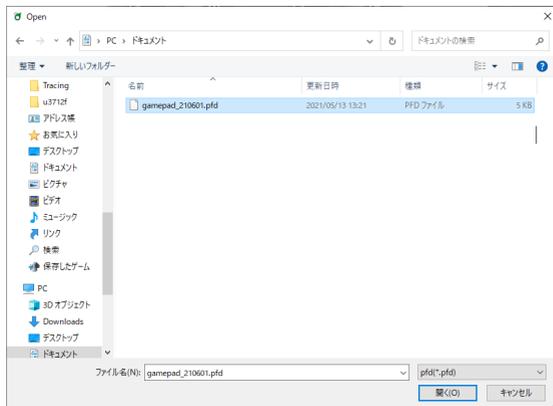
パソコンに保存されているプロファイルのデータファイルをゲームパッドの本体メモリに読み込みます。

読み込みするプロファイルを選択します。



ファイルから設定を読み

ボタンをクリックすると「開く」ダイアログボックスが表示されます。



保存したファイルを選択し、**開く(O)**をクリックします。

選択したプロファイルの本体メモリにデータファイルの内容が読み込まれます。

全ての設定をリセット

ボタン

ゲームパッドの本体メモリに保存したすべての設定（ボタンの機能割り当てなど）をリセットし、初期設定に戻します。

ボタンをクリックすると確認のメッセージが表示されます。



OK

をクリックするとすべての設定がリセットされ、初期設定に戻ります。

マクロを設定する

一連の操作をマクロとして作成します。作成したマクロは、保存（パソコンに自動的に保存されます）した後、ボタン設定画面でボタンに割り当てることで使用できるようになります。

マクロエディタ画面



① ゲームパッドに保存したマクロ

ゲームパッドの本体メモリに保存されているマクロの名前、動作タイプと容量が表示されます。



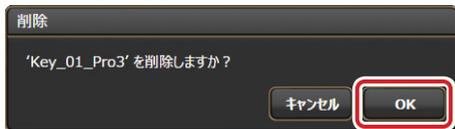
動作タイプのアイコン

-  1 回だけ実行する
-  キーを押している間実行し続ける
-  もう一度キーを押すまで実行し続ける

2 削除ボタン

ゲームパッドの本体メモリに保存されているマクロを削除します。

- ① 削除するマクロ名を選択し、**マクロ削除** をクリックします。
削除確認のメッセージが表示されます。



- ② **OK** をクリックします。
ゲームパッドの本体メモリからマクロが削除されます。

3 マクロを保存

エディタの内容をゲームパッドの本体メモリにマクロとして保存します。保存したマクロは「ゲームパッドに保存したマクロ」リストに表示されます。

エディタの内容を新しいマクロとして保存するとき

- ① 「ゲームパッドに保存したマクロ」の **+** をクリックします。
- ② **➡** をクリックします。

マクロ名を入力ダイアログボックスが表示されます。

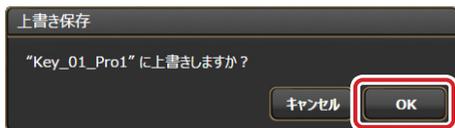
- ③ キーボードでマクロの名前を入力します。
- ④ **OK** をクリックします。



新しいマクロが保存されます。

エディタの内容を作成済みのマクロに上書きするとき

- ① 「ゲームパッドに保存したマクロ」で上書きするマクロ名をクリックします。
- ② **➡** をクリックします。
上書き確認のメッセージが表示されます。



- ③ **OK** をクリックします。
マクロが上書き保存されます。

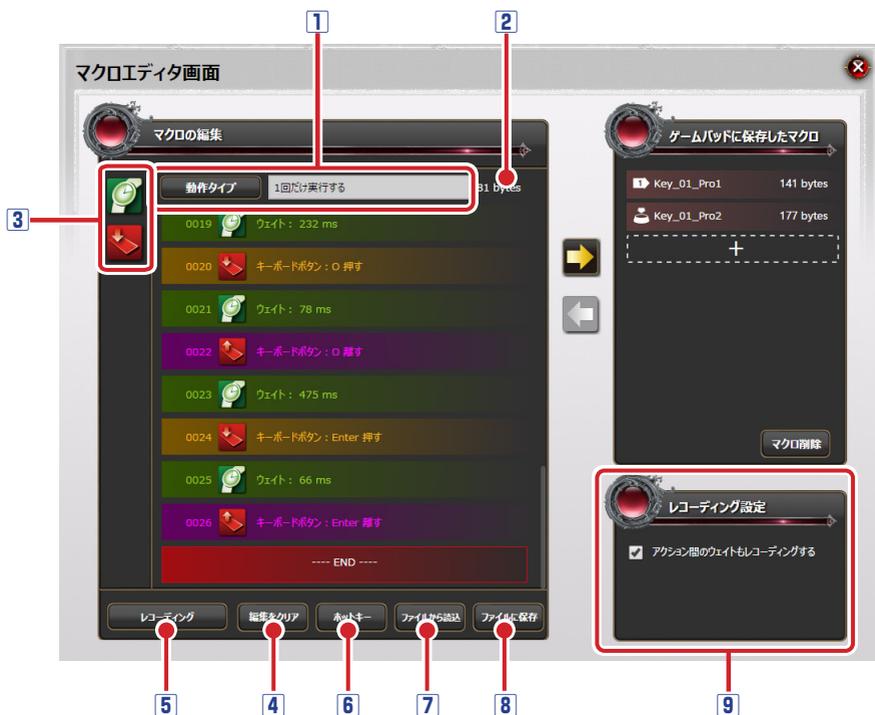
4 エディタに読み込み

「ゲームパッドに保存したマクロ」のマクロをエディタに読み込みます。

作成済みのマクロをエディタに読み込むとき

- ① 「ゲームパッドに保存したマクロ」でマクロ名をクリックします。
- ② **⬅** をクリックします。
エディタにマクロの内容が表示されます。

マクロを編集する



1 動作タイプ

マクロの動作タイプを設定します。

動作タイプ をクリックするたびに、次の3タイプが切り替わります。

「1回だけ実行する」

「キーを押している間実行し続ける」

「もう一度キーを押すまで実行し続ける」

2 編集中のマクロの容量

エディタで作成または編集中のマクロの容量を表示します。

3 エディタ

マクロを作成または編集します。マクロのコマンドおよびアクションは、エディタの上から順番に動作されます。

コマンドまたはアクションを追加するとき

エディタ上の追加したい位置でアイコンをクリックします。選択中のコマンドまたはアクションの上の行に新しいコマンドまたはアクションが追加されます。



「ウェイト (待機時間)」コマンドを追加する場合は、クリックしてから、次の方法でウェイト (待機時間) を設定します。

-  /  をクリックして待機時間 (単位: ms) を変更します。
- コマンドをダブルクリックして表示されるマクロ編集ダイアログボックスで待機時間 (単位: ms) を入力し、**OK** をクリックします。



「ウェイト (待機時間)」コマンドが連続するような場合は、追加できません。



- 「キーを押す」アクションを追加する場合は、クリックしてから、キーボードで設定するキーを押します。
- 「マウスボタンを押す」アクションを追加する場合は、クリックしてから、設定するマウスボタンを押します。左右のクリックとホイールクリック以外のボタンは追加できません。

エディタ上に表示されるアイコン

	「ウェイト（待機時間）」コマンドを示します。ダブルクリックで表示されるダイアログボックスで設定を変更できます。
	「キーを押す」アクションを示します。
	「キーを離す」アクションを示します。
	「マウスボタンを押す」アクションを示します。
	「マウスボタンを離す」アクションを示します。
	「ウェイト（待機時間）」コマンドをマクロから追加したときに表示されます。レコーディングした「ウェイト（待機時間）」コマンドには表示されません。

4 編集をクリア

エディタの内容をすべて削除します。



マクロの新規作成時、前の編集内容が表示されているときは **編集をクリア** をクリックしてください。前の設定をリセットせず、マクロ編集のベースとして利用することもできます。

5 レコーディング

実際にキーボードやマウスボタンで操作した内容を記録し、マクロとして使用することができます。 **レコーディング** をクリックすると、レコーディングの準備状態に入り、[ESC] キー（初期設定）でレコーディングをスタート/ストップします。

6 ホットキー

レコーディングをスタート/ストップするキーを設定します。

初期設定は [ESC] キーに割り当てられています。

[ESC] キーが他のアプリケーションソフトに割り当てられている場合は、[ESC] キー以外に変更できます。

ホットキー をクリックし、設定するキーボードのキーを押します。

7 ファイルから読込

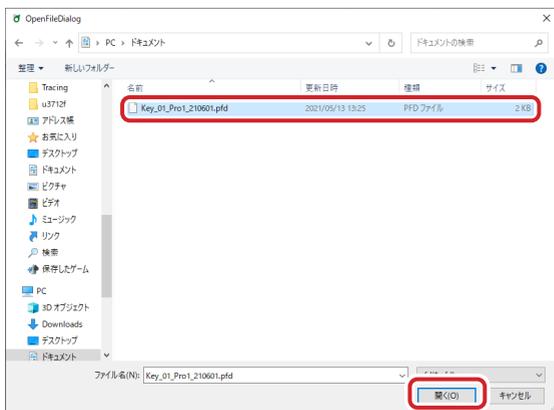
ファイルとしてパソコンに保存したエディタの内容をエディタに読み込みます。

エディタの内容をパソコンに読み込むとき

- ① **ファイルから読込** をクリックします。

[開く] ダイアログボックスが表示されます。

- ② 保存したファイルを選択し、**開く(O)** をクリックします。
エディタにファイルの内容が読み込まれます。



8 ファイルに保存

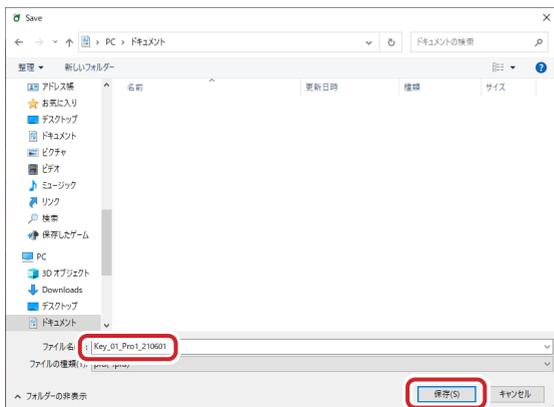
エディタの内容をファイルとしてパソコンに保存します。

エディタの内容をパソコンに保存するとき

- ① **ファイルに保存** をクリックします。

[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

- ② ファイル名を入力し、**保存(S)** をクリックします。



9 レコーディング設定

レコーディング機能を使ってマクロを定義する際の設定をします。



アクション間のウェイトもレコーディングする

チェックマークを付けると、レコーディング操作中のウェイト（待機時間）も記録されます。

マクロを作成する例

次の手順は、キーボードの [H] キー、[e] キー、[] キー、[] キー、[o] キー、[Enter] キーを順番に押すマクロを作成する場合を例として説明します。

1 ボタン設定画面で[マクロ]をクリックします。



マクロエディタ画面が起動します。

2 動作タイプ をクリックし、マクロの動作タイプを設定します。



3 必要に応じて、レコーディング設定を設定します。

4 エディタでマクロのコマンドまたはアクションを追加します。

アイコンから追加する場合

- ①  をクリックし、キーボードの [H] キーを押します。
- ②  をクリックし、キーボードの [e] キーを押します。
- ③  をクリックし、キーボードの [] キーを押します。
- ④  をクリックし、キーボードの [] キーを押します。
- ⑤  をクリックし、キーボードの [o] キーを押します。
- ⑥  をクリックし、キーボードの [Enter] キーを押します。

レコーディングで追加する場合

- ① **レコーディング** をクリックします。
- ② キーボードの [ESC] キー（初期設定）を押し、レコーディングをスタートします。
- ③ キーボードの [H]、[e]、[I]、[O]、[Enter] の順にキーを押します。
- ④ キーボードの [ESC] キー（初期設定）を押し、レコーディングをストップします。



ウェイト（待機時間）を記録しない場合は、「アクション間のウェイトもレコーディングする」のチェックマークをはずしてください。

- 5 「ゲームパッドに保存したマクロ」の **+** をクリックし、**▶** をクリックします。

マクロ名を入力ダイアログボックスが表示されます。

- 6 マクロの名前を入力し、**OK** をクリックします。

新しいマクロがパソコンに保存されます。



「ゲームパッドに保存したマクロ」には作成したマクロが表示されます。



- 7 **✕** をクリックし、マクロエディタ画面を終了します。

これで、マクロが作成されました。

作成したマクロは、ボタン設定画面でボタンに割り当てることができます。

MMO ゲームパッド

JC-DUX60BK

ドライバー設定ガイド

2021年6月1日 第2版

- 本マニュアルの著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- 本マニュアルの内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- 本マニュアルの内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- その他記載されている会社名・製品名等は、一般に各社の商標または登録商標です。